

（7）現地調査

ア. 調査概要

2026年4月20日16時52分に発生した三陸沖の地震（M7.7）により、青森地方気象台は、「気象庁 機動調査班（JMA-MOT）」を派遣し、震度5強を観測した震度観測点の観測環境が地震により異常を生じていないか、設置状況の点検および震度観測点の周囲約200mの範囲内での被害状況を把握するため、現地調査を実施した。

イ. 調査日

2026年4月21日（火）

ウ. 震度観測点および観測環境点検結果

震度5強を観測した青森県の「階上町道仏*」の観測環境の点検を行った結果、震度計台や周囲の地盤等には震度観測に影響を与えるような異常は認められなかった。図7-1に現地調査の実施地域を示す。

エ. 地震動による被害状況調査

震度5強を観測した震度観測点の周囲約200mの範囲内において、地震動による建物被害等の調査を実施した。観測点周辺では、建物等の外観や住民からの聞き取り調査から、この地震に伴う目立った被害は確認されなかった。



図7-1 現地調査の実施地域

*印は、地方公共団体および国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点を示す。